

創立40周年を迎えて

本日、茨城県立中央高等学校は創立40周年という記念すべき節目の日を迎えました。

この佳き日を、本校を温かく支えてくださる保護者の皆様、同窓生の皆様、地域社会の皆様、そして情熱をもって教育にあたられてきた歴任教職員の方々と共にお祝いできますことは、この上ない喜びであり、心より深く感謝申し上げます。

昭和62年の開校以来、本校は地域と共に歩みを重ね、「豊かな人間性と確かな学力を兼ね備えた人材の育成」に努めてまいりました。この40年間に本校を巣立った数多くの卒業生たちは、ここで培った「自律・博愛・創造」の精神を胸に、現在も社会の多様な分野でその力をいかに発揮し、目覚ましい活躍を続けております。校庭の木々が歳月を経て深く根を張り、豊かな葉を茂らせてきたように、先人たちが積み重ねてこられた情熱と努力は、いまや本校の揺るぎない礎となり、誇りある伝統として脈々と受け継がれています。

現在、私たちが生きる社会は急速に変化し、将来の予測が困難な時代を迎えています。しかし、どのような時代にあっても、本校の校訓である「自律・博愛・創造」——自らを律し、他者を思いやり、自ら深く考えて新たな未来を創り出す姿勢の尊さが変わることはありません。

在校生の皆さん。皆さんは今、40年という歴史のバトンを受け取り、新しい未来の1ページを開く主役です。先輩方が築き上げた伝統に誇りを持ちつつ、変化を恐れず、自らの夢や目標に向かって果敢に挑戦を続けてください。この中央高等学校での出会いと学びを糧とし、地域に根ざしながら世界へと視野を広げられる人に育ってくれることを切に願っています。

本校はこれからも、生徒一人ひとりが安心して自らの可能性を伸ばし、活気あふれる学校生活を送ることができる場であり続けるよう、教職員一丸となって教育活動の一層の充実に取り組んでまいります。また、地域社会に開かれた学校として、皆様からの更なる信頼と期待に誠実にお応えしていく所存です。

結びに、これまで本校の発展のためにご尽力いただきましたすべての皆様に重ねて深く御礼申し上げますとともに、茨城県立中央高等学校の今後ますますの発展と、未来へ羽ばたく生徒たちの健やかな成長を祈念いたしまして、創立40周年を迎えての挨拶といたします。

令和8年10月6日

茨城県立中央高等学校
校長 江原 忠宏